

(参考資料 4)

第 4 回子育て支援員研修（専門研修）WT への意見書

NPO 法人ピッピ・親子サポートネット 友澤ゆみ子

1. 一時預かり事業の専門研修プログラムについて

専門研修については、地域保育プログラムを受ければ一時預かりの保育従事者となれますが、一時預かり事業の専門研修のプログラムも提示いただいています。自治体が、一時預かりの特性に配慮して実施する場合の指針として、有効に活用されることを期待するところですが、以下に記載した内容の加筆についてご検討ください。

<科目名>	<区分>	<時間>	<内容>	<目的>
一時預かり事業の概要		60分	<提案通り>	一時預かりの保護者支援の側面、意義を知る。保護者の一時預かり利用の背景を配慮し安心して預けられる対応
一時預かり事業の保育内容	講義・演習	120分	○一時預かりの特徴と配慮事項 <提案された内容> ○一時預かりの保育内容と1日の流れ ○一時預かりにおける異年齢保育 ○地域の社会資源の活用 ○保育の体制	<提案された目的> →一時預かりにおける基本的な1日の流れや保育内容を学ぶ →少人数の異年齢児を保育する際の方法、工夫、留意事項などを学ぶ。

2. 子育て支援員研修の実施後の途中点検、見直しと改善について

子育て支援員制度は、子ども子育て支援新制度スタートにあたり子どもの育ちを社会全体で支えるために、保育の質を確保するとともに、保育・子育て支援に関わる担い手を増やして行くという目的があると考えます。保育士不足が深刻な中、子育て支援員という仕事に意欲を持って参加し、ゆくゆくは保育士資格取得へとつながることも期待されます。

今回、決定する子育て支援員研修については、上記のような目的に対し実施後における「実績や課題」を把握し、必要に応じて見直し改善していくことが必要と考えます。

3. 幼稚園教諭資格者の保育士資格取得に関する特例措置について

今般、上記の特例措置が示されていますが、幼稚園教諭保有者の実務経験には「一時預かり事業」での経験年数はカウントされないこととなっています。横浜市では、定員15人の一時預かり事業単独施設が18カ所あり、すでに事業所として5年の運営実績を持っているところもあります。幼稚園教諭資格者も働いていますが、今回の特例では、この実務経験がカウントができません。

ぜひ、このような事例もあることを配慮頂き、一時預かりの実務経験についても対象となるよう見直しを検討してください。